

カスタムドメインで Microsoft 365 を利用したい

～ カスタムドメインの登録方法～

設定
を始める
前に

- 本資料では現在業務で使用していないドメインのご利用を前提としております。
- 現在業務にてご使用中のドメインの登録をご希望の場合は、既存環境との共存等、注意事項が発生するため、弊社法人営業担当者までご相談ください。

ドメイン登録までの流れ (1/5)

1. DNSレコード種類の確認

- Microsoft 365 で利用するDNSレコード種類の利用可否

プロバイダーから現在提供を受けているDNSサーバーのサービスが、下記のDNSレコード種類をサポートしているかどうかを確認。(特にTXTレコードとSRVレコード)

A	MX	CNAME	TXT	SRV
---	----	-------	-----	-----

- ❖ DNSプロバイダーがSRVレコードなどをサポートしない場合の注意事項

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/office365/admin/setup/domains-faq#what-happens-if-my-dns-provider-doesnt-support-certain-record-types>

- ❖ 現在ご利用中のプロバイダーで非対応の場合、KDDI提供の「DNSオプション」または「KDDI DNSホスティングサービス」のご利用(切替)をぜひご検討下さい。

- 「KDDI DNSホスティングサービス」紹介ページ

<http://www.kddi.com/business/cloud-network-voice/data-center/dns-hosting/>

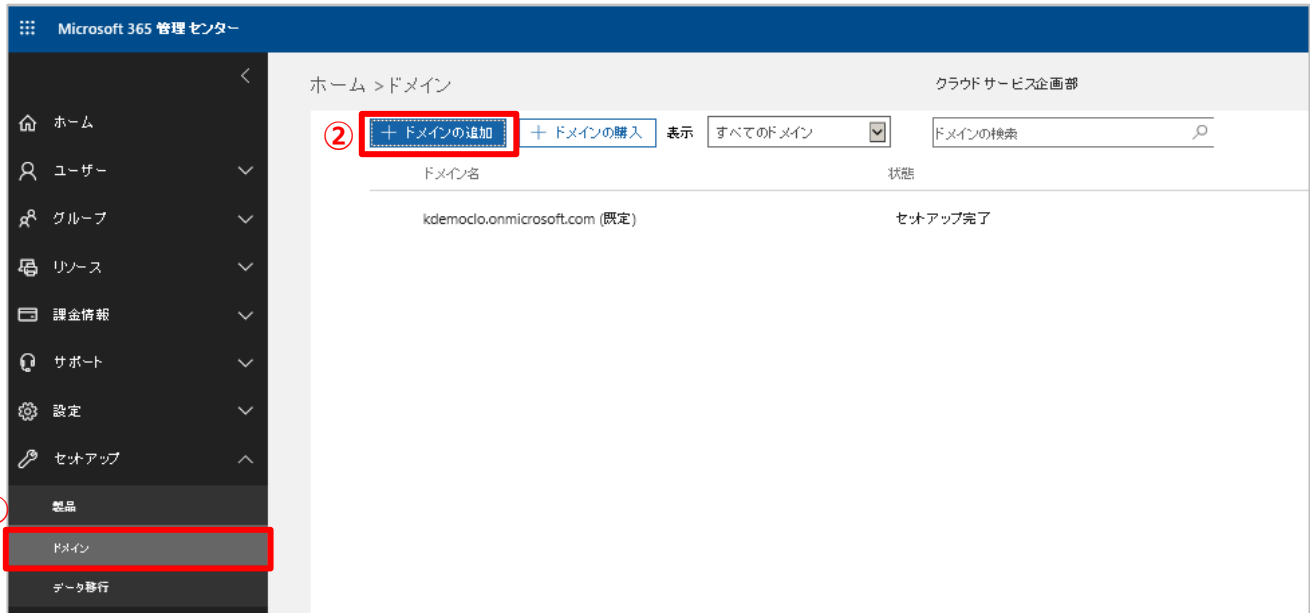
- 任意のDNSホスティングプロバイダーでのDNSレコード作成手順

<https://support.office.com/ja-jp/article/7b7b075d-79f9-4e37-8a9e-fb60c1d95166>

ドメイン登録までの流れ (2/5)

2. ドメインの追加

- Microsoft 365 管理センター画面から左メニューの「ドメイン」を選択(①)。
- 「ドメインの追加」を選択します(②)。



2. ドメインの追加 (所有権の確認)

- 登録したいドメイン名を入力し(①)、「次へ」を選択(②)します。
※ ここでは「 m365kddi.cloudns.cc 」というドメインを追加する例で紹介します。



ドメイン登録までの流れ (3/5)

2. ドメインの追加 (所有権の確認)

- TXTレコードの情報が表示される(①)ので、その内容に従ってDNSレコードをDNS管理コンソールに追加します。追加したDNSレコード情報が反映されましたら、「確認」を選択(②)します。

- ※ DNSレコードの追加が反映されるのに数分から数時間程度かかります。
- ※ TXTレコードが追加できない場合は、「MXレコード」をクリックすると、MXレコードの情報が表示されます。



ドメインの確認

ドメインのセキュリティを維持するために、そのドメインを所有していることを証明する必要があります。下記のレコードを追加すると、ドメインを所有していることを証明できますが、既存のメールなどのサービスに影響はありません。ドメインを所有していることが確認されて、ドメインのセットアップが完了すると、DNSホスティングプロバイダーからレコードを安全に削除できます。

次のステップバイステップの手順に従い、次のDNSホストで下記の値を含むTXTレコードを追加します: your DNS host. [\(DNSホストを選んでください。\)](#)

確認方法: [TXTレコード](#) [MXレコード](#)

TXT名:	① m365kddi
TXT値:	MS=ms44091275
TTL:	3600 またはプロバイダーの既定値。

サポートを依頼してください。TXTレコードの設定をサポートします。

- ②

❖ 任意のDNSホスティングプロバイダーでMicrosoft 365用のDNSレコードを作成
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/office365/admin/get-help-with-domains/create-dns-records-at-any-dns-hosting-provider>

❖ Microsoft 365にドメインを追加する
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/office365/admin/setup/add-domain>



ドメイン登録までの流れ (4/5)

2. ドメインの追加 (利用サービスの選択)

- ・ 独自ドメインで利用したいサービスにチェック(①)をし、「次へ」を選択(②)します。

The screenshot shows the 'Online Service Selection' step in the Microsoft 365 setup wizard for the domain 'm365kddi.cloudns.cc'. The progress bar at the top indicates that 'Domain Addition', 'Domain Confirmation', and 'Online Service Selection' are completed, while 'DNS Settings Update' is pending. The main heading is 'オンライン サービスの選択'. Below the heading, there is explanatory text: 'この手順では、レジストラまたは DNS ホスティング プロバイダーで DNS レコードを追加して、メールやインスタント メッセージングなどのドメインのサービスをアクティブにします。' Three service options are listed, each with a checkbox and a link to 'DNS records that need to be set':

- Exchange**
メール、連絡先、スケジュールはすべて Exchange によって提供されます。Outlook とその他のメール クライアントのすべての機能を有効にするには、このサービスを設定します。
[設定が必要な DNS レコードの数](#)
- Skype for Business**
チャット、電話会議、ビデオ通話などのオンライン通信サービスは Skype for Business によって提供されます。
[設定が必要な DNS レコードの数](#)
- Mobile Device Management for Office 365**
このサービスは、ドメインに接続するモバイル デバイスをセキュリティで保護し、リモートで管理するのに役立ちます。
[設定が必要な DNS レコードの数](#)

At the bottom, there are three buttons: '次へ' (Next), '戻る' (Back), and '保存して閉じる' (Save and close). The '次へ' button is highlighted with a red box and a circled '2' next to it. The 'Exchange' checkbox is also highlighted with a red box and a circled '1' next to it.



ドメイン登録までの流れ (5/5)

2. ドメインの追加 (利用サービスの選択)

- 各サービスの利用に必要なDNSレコードが表示(①)されますので、その内容に従ってDNSレコードをDNS管理コンソールに追加します。追加したDNSレコード情報が反映されましたら、「確認」を選択(②)します。

DNS 設定の更新

この手順では、レコストラまたは DNS ホスティング プロバイダーで m365kddi.cloudns.cc の DNS レコードを追加して、メールやインスタントメッセージなどのドメインのサービスをアクティブにします。your DNS host (DNS ホストを選んでください) 使用したネームサーバー: ns24.cloudns.net, ns22.cloudns.net, ns23.cloudns.net
このデータをダウンロードまたは印刷することもできます。

エクスポート先: ▼

↑ MX レコード

DNS ホスティング プロバイダーでこれらのレコードを追加してください。ステップバイステップの手順

⚠️ 重要: DNS ホストにこのドメイン用の MX レコードが既にある場合、下記の値に MX レコードを変更すると、新たな受信メールは新しいメール アドレスにリダイレクトされて、以前のメール サービスにメールは配達されなくなります。MX レコードを変更した後に、新しいメール アカウントで以前のメールにアクセスしたい場合は、以前のメール メッセージを移行する必要があります。

[このテーブルをコピーする](#)

優先度	ホスト名	ポイントのアドレスまたは値	TTL
0	m365kddi	m365kddi-cloudns-cc.mail.protection.outlook.com	3600

↑ CNAME レコード

DNS ホスティング プロバイダーでこれらのレコードを追加してください。ステップバイステップの手順

[このテーブルをコピーする](#)

ホスト名	ポイントのアドレスまたは値	TTL
autodiscover.m365kddi	autodiscover.outlook.com	3600

↑ TXT レコード

DNS ホスティング プロバイダーでこれらのレコードを追加してください。ステップバイステップの手順

[このテーブルをコピーする](#)

TXT 名	TXT 値	TTL
m365kddi	v=spf1 include:spf.protection.outlook.com -all	3600

サポートを依頼してください。DNS レコードの設定を再テストします。

この手順をスキップする - カスタム DNS レコードがあるので、後で必要なレコードを自分で追加します。レジス
トラード手順でレコードを追加するまでは、一部の Office 365 サービスを利用できない場合があります。ご理解
をお願いします。

② 確認 戻る 保存して閉じる

- 「完了」を選択(①)します。

DNS 設定の更新

このドメインが追加されました。スキップされたすべての DNS レコードは、このドメインのエラーとして表示されます。DNS レコードが正しくないが見つからない場合、このドメインのユーザーが一部の Office 365 サービスを利用できない可能性があることにご注意ください。

① 完了

お申し込みからご利用開始までの流れ (1/2)

3. ユーザーの追加とライセンスの割り当て

- 追加したドメインを利用させたいユーザーを選択 (①) し、ユーザー名の「編集」をクリック (②) します。

The screenshot shows the Microsoft 365 Admin Center interface. On the left, a navigation pane includes 'ホーム', 'ユーザー', 'アクティブなユーザー', '連絡先', 'ゲストユーザー', '削除済みのユーザー', 'グループ', 'リソース', '課金情報', 'サポート', '設定', 'セットアップ', and '製品'. The main area is titled 'ホーム > アクティブなユーザー'. A list of users is displayed with checkboxes. The user 'デモ サブロウ' is selected, and its checkbox is marked with a red circle and the number 1. To the right, a detailed view for 'デモ サブロウ' (demo saburo) is shown, including fields for 'ユーザー名' (username), '製品ライセンス' (product license), 'グループ メンバーシップ' (group membership), 'サインイン状態' (sign-in status), 'Office のインストール' (Office installation), '役割' (role), 'データの既定の場所' (default data location), '連絡先情報' (contact information), 'メールの設定' (email settings), and 'OneDrive の設定' (OneDrive settings). The '編集' (edit) button next to the 'ユーザー名' field is highlighted with a red circle and the number 2.

- 利用したいドメイン名を選択 (①) し、「保存」をクリック (②) します。

The screenshot shows the 'ユーザー名の編集' (Edit user name) dialog box in the Microsoft 365 Admin Center. The dialog has a title bar with 'サデ' and 'デモ サブロウ' (demo saburo). It contains a 'ユーザー名' (username) field with 'demosaburo' and a dropdown menu for domain selection. The domain 'm365kddi.cloudns.cc' is selected and highlighted with a red circle and the number 1. Below the dropdown is a yellow warning message: '警告: このユーザーのサインイン情報を変更しようとしています。このユーザーのユーザー名を変更しました。この変更について、必ずユーザーに連絡してください。' (Warning: We are about to change the sign-in information for this user. We have changed the user's name. Please contact the user about this change.) At the bottom of the dialog, the '保存' (save) button is highlighted with a red circle and the number 2, and the 'キャンセル' (cancel) button is also visible.

お申し込みからご利用開始までの流れ (2/2)

3. ユーザーの追加とライセンスの割り当て

- 追加したドメインを新しいユーザーに利用させたい場合は、「+ユーザーの追加」を選択(①)し、必要事項を入力(②)し、「追加」をクリック(③)します。
- ※ 二名以上のユーザーを追加するには、「その他」>「+複数のユーザーのインポート」(①')をクリックします。

Microsoft 365 管理センター

ホーム > アクティブなユーザー ②'

① +ユーザー... その他 ②' ビュー すべてのユーザー ユーザー

<input type="checkbox"/>	表示名へ	ユーザー名
<input type="checkbox"/>	クラウドサービス企画開発部	admin@kdemoclo.onmicrosoft.co
<input type="checkbox"/>	デモ サブロウ	demosaburo@kdemoclo.onmicro
<input type="checkbox"/>	デモ シロウ	demojiro@kdemoclo.onmicrosoft
<input type="checkbox"/>	デモ タロウ	demotaro@kdemoclo.onmicroso
<input type="checkbox"/>	デモ01	test01@kdemoclo.onmicrosoft.co
<input type="checkbox"/>	デモ02	test02@kdemoclo.onmicrosoft.co

新規ユーザー

表示名 *

ユーザー名 *

ドメイン

国 *

連絡先情報

パスワード 自動生成

役割 ユーザー (管理者アクセス権なし)

製品ライセンス* 対象の決定が必要です

Microsoft Stream 試用版 使用できるライセンス数に制限はありません

Microsoft MyAnalytics 1/1 套のライセンスが使用可能

Office 365 Enterprise E3 17/17 套のライセンスが使用可能

Microsoft Flow Free 9999/10000 套のライセンスが使用可能

Office 365 Business 1/1 套のライセンスが使用可能

お読みできません: 製品ライセンスなしでユーザーを作成する ユーザーは、製品ライセンスが割り当てられるまでは、Office 365 に限定的にアクセスできるが、まったくアクセスできない場合があります。

追加 キャンセル

- 新しいユーザーが追加されましたら、必要に応じてパスワードを控え、「閉じる」をクリック(③)します。

デモ シロウ
demojiro@365kddi.cloudns.cc

ユーザーが追加されました

名前: デモ シロウ

ユーザー名: demojiro@365kddi.cloudns.cc

パスワード:

パスワードをメールで送信

閉じる

次のステップ

弊のユーザーを追加します
このユーザーの詳細を調べます
Office 365 を使い始める方法を表示
(このリンクをユーザーに共有してください。)

以上でドメインの追加が完了しました。
アカウントの作成手順等につきましては、別資料『M365 導入の手引き (①カスタムドメイン無) 』(p.2~)をご参照ください。